

# 地域経済活性化フォーラム及び 市町村の地方創生担当者と国のコンシェルジュとの意見交換会

鹿児島財務事務所では、鹿児島と本省庁とのネットワークを広げ、活用していく取組として、各省庁、経済界、金融機関、学界、報道機関の協力の下、「地域経済活性化フォーラム」及び「市町村の地方創生担当者と国のコンシェルジュとの意見交換会」を同日開催。

## 概要

### ○地域経済活性化フォーラム「鹿児島わっぜか※フォーラム」

- 国の地方創生担当者による基調講演、有識者によるパネルディスカッションを実施。
  - 参加者数：第1回220名、第2回170名。
- ※「わっぜか」：鹿児島弁で「ものすごい」の意味。



第1回(平成29年4月14日開催) 「観光・今やるべきこと」  
・ 将来に向けて今、何をすべきかについて議論。

第2回(平成29年12月6日開催) 「観光から移住・定住へ」  
・ 事前に市町村から課題に挙げられた「空き家対策」も交え、観光から移住・定住を考える上で考慮すべき点や課題等について議論。

### ○市町村の地方創生担当者と国のコンシェルジュとの意見交換会

市町村の地方創生担当者  
(第1回：20団体35名、  
第2回：22団体26名)

意見交換

市町村の地方  
創生担当者



説明等 ↑ ↓ 交付金や地方創生に関する制度への質問・国への要望

国のコンシェルジュ(第1回：7機関11名、第2回：7機関15名)

## 取組の成果と今後の展開

### ○取組の成果

#### ● 地域経済活性化フォーラム

- ・ 「観光」「地方創生」に対する意識改革(パイプ役としての職務)。
- ・ 経済界、金融機関、学界、報道機関等との連携。

#### ● 市町村の地方創生担当者と国のコンシェルジュとの意見交換会

- ・ 各市町村が抱える課題や地方創生に対する意識の共有。
- ・ 市町村担当者と国コンシェルジュ間の意見交換し易い環境の強化。

### ○今後の展開

- フォーラムをより良いものとするため、県や開催地市町村との連携強化を図り、共催を検討。
- 次回フォーラムは、地域からの要望により、世界自然遺産登録を控える奄美群島で開催(平成30年6月目途)。
- アドホックな「鹿児島わっぜかフォーラム」から、プラットフォームの構築・常設化へ。産学金官と連携し、有識者(40名程度)を構成員とするプラットフォーム「かごしま活性化フォーラム」を立ち上げ(平成30年4月目途)。